

# 東京病院ニュース

**増刊号**

発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

## 就任のご挨拶

**薬剤部長 近藤 直樹**

4月1日付で薬剤部長に着任いたしました。国立病院には、薬学部卒業後すぐに勤務しており、34年目になりますが、当院での勤務は、はじめてになります。私自身、清瀬市の近隣にある埼玉県東入間地区に20年以上住んでおり、また私の父方の親戚が北多摩地区で生まれ育っていることもあり、いつか東京病院で仕事がしたいと思っていました。このたび当院での着任が叶ったことから、全職員と協力し、近隣地域の医療従事者の方々と連携を図り、微力ではございますが、最善の医療を提供できるよう精進していきたいと思っております。

東京病院では新参者ではございますが、精一杯務めて参ります。ご指導、ご助言等を賜りますようお願い申し上げます。

**看護部長 岡地 千佳**

4月1日付けで、新潟病院より異動してきました看護部長の岡地千佳と申します。私は国立病院時代に入職し、東京病院で7施設目となります。急性期病院からセーフティネットを担う病院まで多岐にわたる病院を経験しました。どの施設でも、「看護職員が楽しく成長しながら勤務できるように！患者さんが安心して治療に専念できるように！」をモットーに勤務してきました。東京病院でも、変わらず考え続けていきたいと思えます。

長い歴史のある東京病院は、コロナ禍で東京都臨時医療施設を開設する等、行政の指令を受け活動されてきましたが、感染が収まりつつある状況で本来の病院の姿を取り戻すことが直近の課題と思えます。微力ではありますが、経験を活かして貢献できるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



**事務部長 小野 勝**

4月1日付で事務部長として着任いたしました。東京病院は30年振りの勤務となります。私は実は、東京病院で採用となり、平成5年4月1日付で当時の厚生省（現、厚生労働省）に異動しました。これまでの30年間は、厚生労働省、中国四国厚生局、成育医療センター、NHO本部（係長・課長・部長）で勤務。昨年12月の緩和ケア病棟の開棟記念式典には、理事長の代理で参列させていただきました。その時にはまさか4月から東京病院に勤務するとは思っていませんでしたが、スタートの病院で再び勤務することができ、また、30年前と一緒に働いていた方もおられる等、高揚感を抑えきれません。これからは、病院運営の改善に邁進していきますので、何卒、よろしくお願いいたします。

**管理課長 細田 和宏**

4月1日付で国立成育医療研究センターから管理課長として参りました細田和宏と申します。東京病院の敷地の広さに驚かされ、また国立病院機構での勤務が3年ぶりのため毎日戸惑いながらも何とかお仕事させていただいております。

人に「ありがとう」の言葉、「感謝」の気持ちを大切にし、職員一人一人が手を取り合って働きやすいライフワークへの醸成に取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

**経営企画室長 大野 豊**

4月1日付で厚生労働省から経営企画室長として参りました大野と申します。東京病院へは初めての赴任ですが、看護大学校が出来る以前の平成8年頃に東京病院の職員と野球をした思い出があります。

NHOの勤務は7年ぶりとなり、NHOを取り巻く状況は「COVID-19」の対応等もあり、厳しくなっているところではありますが、そうしたなかで東京病院の経営基盤の安定した構築・維持に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**消化器外科医長 中山 洋**

4月より消化器外科医長として赴任した中山 洋です。専門分野としては、胃を中心とする消化器癌・GIST（消化管間質性腫瘍）や、胆石・胆嚢炎、急性虫垂炎等の手術も扱います。一人ひとりの患者さんにとってどうするのが一番良い方法であるかを常に探し、納得頂いた上で治療をお選びいただけるように、医療のプロとして丁寧に説明・相談していくことを心がけています。胃癌の手術後は食べられる食事の量が減ることが多く、長期的にはビタミンB12やビタミンDの不足から、体力や認知機能が落ちてしまう方もあります。まずは癌を治すことが優先ですが、健康寿命を延ばして元気に過ごしていただくことも重視していきたいと思っています。

**リハビリテーション科医師 塚本 康司**

本年4月からリハビリテーション科医師として赴任しました、専門医2年目の塚本康司と申します。これまで、東京都リハビリテーション病院で脳卒中や骨折後、国立障害者リハビリテーションセンター病院で脊髄損傷や四肢切断の患者さんの診療に従事してきました。これまでの経験を活かし、東京病院でも患者さんの退院後の生活がより良いものとなるように、多職種と協力しながら日々の診療に取り組んで参ります。よろしくお願い致します。

**副看護部長 木村 麻紀**

この度、4月1日付で国立がん研究センター中央病院より配置換えで参りました、副看護部長の木村麻紀と申します。

当院の、コロナ診療・看護の中心的役割を担われ奮闘されてきたこの3年間を思うと共に、これからは本来の呼吸器疾患を始めとする地域病院として本来の役割を発揮していくことへ身の引き締まる思いです。NHO勤務は初めてであり、ご教示いただくことも多いと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

**臨床検査技師長 松本 善信**

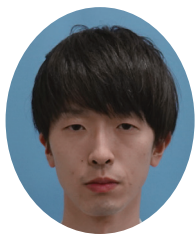
4月1日付けで群馬県のNHO高崎総合医療センターより昇任で参りました、臨床検査技師長の松本善信と申します。COVID-19は5月連休明けから5類へ移行した後でも、感染者の増加(隠れ感染者)によりCOVID-19関連検査については、現状を維持したままの検査対応となっていくと考えられます。その先(1年後～数年後)については、インフルエンザ検査等と同様に迅速性を求められる検査になっていくことが予想され、検査方法や検査機器の見直しも考えられます。今後は関連部署と相談を行い、その時々に応じた検査対応を考えていきたいと思っております。

迅速で正確な結果を提供できるように努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

**業務班長 永野 哲史**

この度4月1日付で村山医療センターより、配置換えで参りました業務班長の永野哲史と申します。東京病院は、自然豊かな環境にあって職員の方々が優しいという印象を受けました。また新型コロナウイルス対応や地域医療への貢献といった重要な役割を担っている病院です。早く業務に慣れて、東京病院の一員として頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## 新任のご挨拶



### 呼吸器内科（専攻医） 佐藤 賢吾

今年度より呼吸器内科専攻医として入職いたしました佐藤賢吾と申します。昨年度は多摩総合医療センターで研修を積み、1年ぶりに東京病院に戻って参りました。まだまだ未熟な私ですが、常に謙虚な姿勢で学び、患者様とご家族様に寄り添い、最善の医療を提供できるよう努めてまいります。皆様のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 呼吸器内科（専攻医） 本村 英明

今年度より呼吸器内科専攻医として赴任しました、本村英明と申します。昨年度は多摩総合医療センターで勤務し、呼吸器内科以外の内科を中心に研修をしてまいりました。当院は1年ぶりの勤務となり、懐かしさとともに身の引き締まる思いでいます。これまでに身につけた知識を生かしつつ、呼吸器分野の修練に勤んでいきたいと思っております。

まだまだ未熟者ではありますが、より良い医療を提供できるよう日々努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



### 呼吸器内科（専攻医） 徳田 克洋

今年度より呼吸器内科専攻医として入職致しました徳田克洋と申します。昨年度までは茨城県の水戸協同病院で内科医をしていました。様々な呼吸器疾患を学びながら、医師として人として成長するため、日々精進したいと思います。未熟な点も多いですが、御指導のほどよろしくお願い致します。



### 呼吸器内科（専攻医） 根本 暉久

今年度より呼吸器内科専攻医として赴任いたしました、根本暉久と申します。東京慈恵会医科大学で初期研修および後期研修2年間を行いました。東京病院では、結核、非結核性抗酸菌症、真菌症などの感染症をはじめ、呼吸器疾患について幅広く学び、患者さんに適切な医療を提供できるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



### 消化器外科（専攻医） 町田 はるか

4月より消化器外科に赴任いたしました、町田はるかと申します。救急科専門医取得後、外科専攻医として昨年度まで公立昭和病院にて勤務しておりました。日々の健康を守ることに、予期せぬ症状・けがの対応に従事すること、この2点を柱として外科医として地域の皆様と幅広く関わっていきたく考えています。どうぞよろしくお願いいたします。